

2025年8月作成（第1版）

貯法 室温保存、気密容器、遮光

動物用医薬品

動物用吸入麻酔剤

劇薬 要指示医薬品 指定医薬品

承認指令書番号 6動薬第4094号
販売開始 2025年10月

イソフルラン「文永堂」

【成分及び分量】

本品 100mL 中

有効成分	イソフルラン
含量	100mL

【効能又は効果】

イヌの全身麻酔

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- 本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- （取扱い及び廃棄のための注意）
- 変色が見られた場合には、使用しないこと。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は、直射日光、高温、及び多湿を避けること。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- 適切な換気設備のある手術室で使用すること。
- イソフルランの気化器への分配等の取扱いには気をつけること。
- 皮膚や目に触れた場合すぐに洗い流すこと。

（取扱い上の注意）

- 正確な濃度の気体を供給できる専用の気化器を使用すること。

（専門的事項）

① 対象動物の使用制限等

- 本剤または他のハロゲン化麻酔薬に対して過敏症のある動物には使用しないこと。

② 重要な基本的注意

- 本剤の妊娠動物および幼若動物に対する安全性は確立されていないため、注意して投与すること。
- 次の動物には慎重に投与すること。
 - 肝機能障害あるいは腎機能障害のある動物。
 - 高齢動物。
- 本剤の使用にあつては、動物の状態に応じて、抗コリン作用薬、鎮静薬、筋弛緩薬、又は適切な導入麻酔薬を選択し前投薬として使用すること。
- 本剤の使用前は原則として絶食させておくこと。
- マスク装着による導入は動物が暴れることがあるので、最初の保定を確実にすること。
- 本剤はなるべく蘇生設備や呼吸維持に必要な設備のある所で使用すること。
- 麻酔の深度は手術などの処置に必要な最低の深さにとどめること。
- 本剤は呼吸機能・循環動態に対して抑制的に作用するため、吸入中は厳重に動物の全身状態を管理すること。
- 本剤は濃度依存的に呼吸抑制・血圧異常が頻発する傾向があるため、注意して投与すること。
- 本剤は高濃度の吸入により気道刺激が認められることがあるため、注意して投与すること。
- 本剤の吸入中は体温の下降が認められるので、動物の保温状態に注意すること。

③ 相互作用

- アドレナリン作動薬の併用により不整脈が現れることがある。

④ 副作用

- 慢性の僧帽弁閉鎖不全及び完全房室ブロックを併発する個体において、極めて強い不整脈が起こる。

【薬理学的情報等】

吸入麻酔薬であるイソフルランは、可逆的な中枢神経の機能抑制作用（意識の喪失、鎮痛、筋弛緩）を示します。循環器系への抑制作用が弱く、軌道刺激作用が少ない麻酔薬であり、麻酔の導入・覚醒が速やかであるとされています。化学的に安定であるため生体内代謝率が低いという特徴があります。血液脳関門、血液胎盤関門を透過します。

【製品情報お問合わせ先】

文永堂製薬株式会社

〒311-3405 茨城県小美玉市上合前野台 1166 番地

TEL:0299-52-1791 FAX:0299-52-1529



製造販売元

文永堂製薬株式会社

茨城県小美玉市上合前野台 1166 番地

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。